

その他事業 3

〓 事業名 〓

森とふれあい体験ツアー

〓 事業の概要 〓

自然環境や生物多様性の保全の重要性、水資源と森林との関係について、体験を通じて理解を深め、環境保全意識の高揚を図ることを目的とした事業（初級編）。

管内の小学生を対象に、身近な森林である「高粱美しい森」を環境学習の場として、自然に親しみ、自然を守る心を育む機会として、自然の恵み「キノコ」の採取とその鑑定会及び自然観察を行った。

〓 協働の主体・役割分担 〓

協働の主体	役割分担内容
備中県民局 特定非営利活動法人 フォレストフォーピープル岡山	事業の基本的枠組みの企画立案、事業の委託 具体的事業内容の企画立案、事業の受託

〓 実施状況 〓

- 1 日時 平成24年10月11日（木）9：30～15：00
- 2 場所 高粱美しい森（高粱市松山7943-1）
- 3 参加者 備中県民局管内小学生及び教諭 36人
- 4 内容

（1）キノコ採取

4班に分かれて、敷地内の各方面を地元スタッフの道案内で1時間半程度散策し、キノコの採取を行った。

ほとんどの児童がキノコの採取は初めての体験で、最初、木の葉等に隠れてなかなかキノコを見つけることが出来なかったが、時間を追う毎にコツを掴み、最終的には数種のキノコを採取することができた。中には松茸を採取した者もいた。



(2) キノコ鑑定会

昼食後、採取したキノコの鑑定会を行った。雨が少なかったため、例年よりも数は少ないとのことであったが、笠の裏の様子や色などの特徴をもとに大まかに種類分けを試みたところ、6～7種類程度のキノコが採取されていた。

キノコの名前や性質、食べられるキノコなのか毒性のキノコなのかといったことについて専門家から説明を受けた。また、食べられるキノコでも古くなっているものは食べない方が良く、一見食べられるキノコに見えても、よく似た毒性のキノコもたくさんあるので、素人だけで判断しないことといった注意がなされた。児童達は専門家の話に興味深く聞き入っていた。



(3) 自然観察

キノコの鑑定会の後、2班に分かれて再度山に入り、森林インストラクターから樹木の種類や特徴、その働き等について解説を受けながら1時間程度散策を行った。

「森林には山に降った水を溜めるという重要な働きがあり、自分たちが日々使っている高梁川の水を守るためには、この森を大切にしていかなければならない」ということをまとめとして、観察会を終了した。

|| ||

|| 成果・効果 ||

- 1 小中学生の自然体験離れが指摘されている中、身近な自然とふれあう機会を提供できた。
- 2 自生しているキノコを採取し、鑑定し、食することで森の恵みを実感し、「原体験」とすることができた。
- 3 NPO法人や地元住民、学校の協力により、協働による環境学習を実施することが出来た。

|| 来年度以降に向けての展開 ||

自然環境や生物多様性の保全の重要性、水資源と森林との関係をテーマにした体験型の環境学習事業は引続き来年度も実施する。

提案型協働事業として応募された事業の中から同タイプのものがある場合は、当該事業者との協力も検討する。

その他事業 4

" 事業名 "

高梁川のふるさとの森を歩くツアー

" 事業の概要 "

自然環境や生物多様性の保全の重要性、水資源と森林との関係について、体験を通じて理解を深め、環境保全意識の高揚を図ることを目的とした事業（中級編）。

日々の生活に欠かせない水について、その起源をたどるべく、親子で新見市千屋花見の山中に高梁川の源流を訪ね、森林インストラクターの案内説明で源流域の自然を観察した。

下山後は「森のクラフト体験」と称して、インストラクターが山で採取した木の枝やドングリなどの木の实を使って、置物を製作した。

" 協働の主体・役割分担 "

協働の主体	役割分担内容
かのさと体験観光協会 備中県民局	具体的事業内容の企画立案、事業の受託 事業の基本的枠組みの企画立案、事業の委託

" 実施状況 "

- 1 日時 平成24年7月28日（土） 10:00～15:00
- 2 場所 新見市千屋花見
- 3 参加者 県民 17人（8組）
- 4 内容

(1) 源流ハイク

開会行事の後、千屋花見の国道180号下から茗荷谷の源流までの約2キロ、1時間半の道のりを歩いた。途中、森林インストラクターから植物について話を聞いたり、協会の会長から森林の役割や人工林の手入れの必要性などについて説明を受けた。

源流到着後は、参加者全員湧き水をすくって飲んだ。

(2) 森のクラフト体験

下山後会場を移し、インストラクターの指導でクラフトに挑戦した。

参加者は見本を参考に、ドングリなどの木の实を使ってフクロウやタヌキなどのモチーフを作り、サクラなどの木の枝に接着して、メモホルダーや置物など、各自思い思いの作品に仕上げていた。

高梁川の ふるさとの森を歩くツアー

水はわたしたちの毎日の生活、農業や工業に欠かせません。その水はどこから流れてきているのでしょうか。高梁川のふるさとの自然を楽しみながら学ぶたびに出かけませんか.....

平成24年7月28日(土)

7:30 自然館前集合 8:00 集合開始 18:00 自然館前解散予定

◆行き先	新見市千屋花見の高梁川（鳥取-新見市千屋花見駅西バスで移動します） <small>バス乗り場はあしんかほり駅前です（岡山県備前市千屋2番321号）が利用です。</small>
◆内容	①森林インストラクターの案内で高梁川のふるさとの森を探検 ②湧きの水でかんざし作り ③小枝を使って森のクラフト
◆対象	備中県民局管内の小学3～6年生の児童とその保護者
◆定員	先着30人程度（親子10～15組程度）
◆参加費	700円（昼食代実費）
◆申込方法	下記の内容を記入の上、次のいずれかの方法で「備中県民局環境課」までお申し込みください。 ・インターネット：次のアドレス（岡山県備中県民局地域政策部HP）の申込みフォームから http://www.pref.okayama.jp/site/12/284310.html ・FAX：番号 086-425-2156 ・郵送：住所 〒710-8530 倉敷市沼島 1083
◆締切	7月17日(火) 必着
◆問い合わせ先	岡山県備中県民局環境課 電話 086-434-7066 主催：岡山県備中県民局 委託先：かのさと体験観光協会

「高梁川のふるさとの森を歩くツアー」参加申込用紙

保護者氏名と生年月日 () () () () () ()

児童氏名と生年月日 () () () () () ()

住 所 _____ 連絡先電話番号 _____

※ 詳しい日程や服装等の補説文書を後日お送りします。



成果・効果

- 1 高梁川の源流に赴き周囲の環境を体感することで、水の循環や森林の役割について実感でき、保全の重要性や改善への取組に対して自分のこととして捉える環境目線を養うことができた。
- 2 ツアーに親子で参加することで体験を共有し、日頃何気なく使っている水について親子で一緒に考えることができた。
- 3 地元市民団体の協力を得て実施することで、環境面についてだけでなく、その地域の歴史や特色、文化、産業などについても紹介する機会となり、県南からの参加者に対して、新見市について改めて興味を持ってもらうことができた。

来年度以降に向けての展開

自然環境や生物多様性の保全の重要性、水資源と森林との関係をテーマにした体験型の環境学習事業は引続き来年度も実施する。

提案型協働事業として応募された事業の中から同タイプのものがある場合は、当該事業者との協力も検討する。